平成２８年度事業報告

平成 28 年度新宿区シルバー人材センター事業（以下「センター事業」という。）は、「新宿区シルバー人材センター第三次経営計画」（以下「経営計画」という。）（平成27～29 年度）の 2 年度目にあたり、前年度に引き続き「会員の拡充と資質の向上」「就業機会の確保・拡充」「安全管理と適正就業の推進」を重点 3 項目とし、事業計画に即し、新宿区はじめ関係機関の協力を得ながら実施してきました。

現在、日本経済は緩やかな回復基調が続いており、有効求人倍率はすべての都道府県で 1 倍を上回り、とりわけ東京都では 28 年 4 月から 29 年 3 月まで 2 倍を超え、賃金の上昇傾向もあって人手不足が続いています。高齢者の就業者数も 12 年連続で増加し、730 万人と過去最多となり、就業者総数に占める高齢者の割合も 11.4％と過去最高となっています。

こうした状況において、当センターでは会員数が伸び悩み、この年度の入会者は、前年に比べ 29 名減、退会者は 32 名減となり、前年比 29 名減の 1,730 名となりました。

背景としては、多くの企業が定年の延長や 65 歳を越えての雇用継続に乗り出していることなどが考えられます。しかし、増加するシルバー世代を活用する受け皿として、センターに寄せられる期待は今なお大きいことは明らかであり、今後ともセンター機能の拡充を推進していきます。平成 28 年度は都営バスにラッピング広告を行うなど、センターの PR と会員募集に努めましたが、29 年度も新たに効果的かつ効率的な PR 手法を導入し、会員募集においても新機軸を展開します。また、適正就業を進めるとともに、就業機会の一層の開拓を図るため、シルバー派遣事業についても前向きに検討していきます。

安全就業については、夏季の熱中症予防の観点から、安全就業強化月間の 7 月に熱中症計を配布して注意を促しました。この年度は就業中に重篤な事故は起きなかったものの、傷害事故は年間で 14 件と多発しています。特に、就業途上を含めて転倒事故が相次いだため、29 年度は新たに転倒予防の啓発に取り組みます。

昨年 4 月から介護保険制度の改正に伴い、新宿区の地域支援事業の一翼を担って開始した「生活援助サービス」については、これまで家事援助サービスで蓄積してきたノウハウを生かし、延べ契約件数は 327 件と着実な成果を挙げてきました。今後も地域の高齢社会を支える重要な事業として、なお一層の拡充に努めます。

平成 28 年度の契約金額の総額は約 6 億 9 千 2 百万円となり、前年に較べて約 1 千 5 百万円、2.2％の増となりました。最低賃金の引き上げが続いたこともありますが、堅調な受注実績を残すことができました。受託件数は 13,038 件で、前年より 403 件の増となり、経営計画目標値の 13,800 件には届きませんが、前年に引き続き過去最高を更新しています。

以下、平成 28 年度の各事業の実施結果について、報告いたします。

１　社会参加の意欲ある健康な会員の拡充（定款第４条第５号事業）

会員募集については、センターホームページに掲載するほか、新宿区広報への掲載、ポスター・チラシ、都営バス車内放送広告による周知を行うとともに、入会説明会、出張就業相談会でセンター活動の普及啓発をする中で重点的に行いました。また、ここ・からまつり等の各種イベントの際にも積極的に行いました。年度末会員の状況は第１表のとおりです。　（周知・ＰＲについては第 11 表参照）

第１表　会員の状況

会員	２８年度			２７年度			差　　引		
	入会者	退会者	年度末	入会者	退会者	年度末	入会者	退会者	年度末
男	105	132	1,029	132	142	1,056	△27	△10	△27
女	78	80	701	80	102	703	△2	△22	△2
計	183	212	1,730	212	244	1,759	△29	△32	△29

２　会員として必要な知識及び技能の修得について（定款第４条第２号事業）

一般・専門研修及び技能講習等を通じ、会員意識の維持・向上及び職域の拡大を図り、区民や発注者の信頼を確保するとともに、顧客の満足度を高め、新たな就業に繋げるため、会員研修及び技能講習を第２表のとおり実施しました。

第２表　研修・技能講習実施状況

区　　分		研　　修　　内　　容	実施回数	受講者数
センター自主研修	一般研修	新入会員研修(接遇力向上研修)	２１回	２３０
	専門研修	家事援助就業会員・一般会員向け調理研修	９回	８１
	専門研修	生活援助員研修（新宿区主催）	７回	６０
東京しごと財団研修	就業支援講習	毛筆筆耕（賞状書き）	１回	3
		植木の剪定（初級）	１回	2
		植木の基礎（除草・刈込み）	１回	2
		包丁研ぎ	２回	3
		ステップアップ接遇（利用者対応）	２回	5
	一般講習	シルバーパス一斉更新リーダー養成	１回	1
	職域拡大技能講習	襖・障子の張り替え講習	１回	1
		刈払機作業従事者安全衛生教育講習	１回	1

３　合同研修等について（定款第４条第２号事業）

全国シルバー人材センター事業協会、東京しごと財団及びシルバー人材センター及び第３ブロック（新宿区、中野区、杉並区、豊島区、板橋区、練馬区 SC）が主催する

合同研修を第３表のとおり実施しました。

第３表　合同研修等実施状況

区　　分	研修コース	実施回数	受講者数
東京しごと財団・全シ協研修	全シ協定期総会･講演	1	2
	役員等研修「経営管理」	1	2
	実務研修「適正就業のポイント」	1	1
	シルバー人材センターフォーラム	1	3
	安全リーダー研修	1	3
	植木剪定就業安全研修	1	3
	安全新任委員勉強会	1	3
	転倒予防勉強会	1	2
	東京しごと財団安全大会	1	4
第３ブロック合同研修	代表理事等研修「シルバー人材センターとその活動の普及及び啓発について」	1	3
	理事等役員研修「シルバー人材センターの安全就業について考えるべきこと」	1	12
	安全就業研修「事故防止対策」	1	11
	法令順守・情報管理研修	1	29

４　就業機会の確保について（定款第４条第１号事業）

事業委員会及びその専門検討組織である家事援助・育児支援事業開拓分科会並びに自主事業運営分科会を開催し、各事業の開拓等について検討しました。全体的な取り組みとしては、引き続き会員一人ひとりが広報マンとなり、地域における仕事の掘り起こしを始め、就業分野の開拓のためロコミによるＰＲ活動を展開しました。

新しい事業の提案募集を随時しておりますが、本年はありませんでした。

また、「シルバー困り事お手伝い」事業（ベランダ清掃・簡単な家具の組み立て等）も２年目となり、111 件 153,000 円（前年比件数で約 82.1％増、実績で約 47.1％増）の受注に繋げました。

第４表　就業実績

項　　目	２８年度	２７年度	差　　引	増　減　率
年度末会員数(人)	１，７３０	１，７５９	△２９	△１．６％
就業実人員（人）	１，２５４	１，２７２	△１８	△１．４％
就業率（％）	７２．５	７２．３	0.2 ポイント	

契約金額等の実績（第 5 表）については、特にこの年度は、最低賃金の引き上げによるところもあり、公共事業は受託件数、契約金額は前年度に比べ 16 件の増、13,358 千円余の増となりました。

一方、民間事業は、屋外清掃作業等で受託件数、契約金額とも前年に比べ 387 件、1,262 千円余の増となり、当該年度は前年度に比べ、受託件数 403 件、契約金額約 14,620 千円の増となり前年度契約額を堅持することができました。

第 5 表　事業別受託件数及び契約金額実績

※受託件数は、1 契約で 12 ヶ月請求した数

事業別		受託件数（件）				契約金額（円）			
		28 年度	27 年度	差引	増減率	28 年度	27 年度	差引	増減率
公共事業		271	255	16	6.3	297,888,375	284,530,480	13,357,895	4.7
民間事業計		12,767	12,380	387	3.1	394,055,862	392,793,491	1,262,371	0.3
	企業	5,303	5,294	9	0.2	295,358,477	292,836,824	2,521,653	0.8
	家庭	7,396	7,009	387	5.5	89,311,619	90,036,042	△724,423	△0.8
	独自	68	77	△9	△11.7	9,385,766	9,920,625	△534,859	△5.4
合　　計		13,038	12,635	403	3.2	691,944,237	677,323,971	14,620,266	2.2

（1）事務系職種の事業開拓

事務系職種については、現場での指揮命令が発生する懸念ある職種であることから、適正就業のＰＲ活動をする中で、就業開拓専門員等による企業等の戸別訪問を行いましたが、受託件数、就業延人員、契約金額ともに減少しました。（第 6 表のとおり）

第 6 表　事務系職種の事業実績

	受託件数（件）				就業延人員				契約金額(千円)			
	H28	H27	差引	増減率	H28	H27	差引	増減率	H28	H27	差引	増減率
教育指導	128	120	8	6.7%	921	1,061	△140	△13.2%	4,399	4,528	△129	△2.8%
整理事務	32	24	8	33.3%	200	139	61	43.9%	1,083	972	111	11.4%
一般事務	76	69	7	10.1%	1,258	1,122	136	12.1%	5,814	5,487	327	6.0%
筆耕	226	276	△50	△18.1%	1,841	2,336	△495	△21.2%	3,203	3,607	△404	△11.2%
計	462	489	△27	△5.5%	4,220	4,658	△438	△9.4%	14,499	14,594	△95	△0.65%

（2）家事援助・育児支援職種の事業開拓

会員が主体となって家事援助・育児支援事業開拓分科会を 4 回開催し、事業推進の検討を行い、「エプロンだより」を毎月発行、全会員に配布し、事務連絡、研修、事故報告等の情報提供を行う等、情報の共有化に努めるとともにコーディネーターによる就業を希望している会員等との勉強会を 12 回開催しました。また、就業会員のフォローアップを行う就業相談会を 12 回開催しました。

5 名の専門コーディネーターが地域を分担して就業開拓、会員研修、ＰＲ等総合的な活動を行いましたが、就業延人員、契約金額ともに減少しました。（第 7 表のとおり）

また、平成 28 年 4 月から開始した生活援助サービス事業では、事業概要説明、生活援助員研修（新宿区主催）及び生活援助サービス就業会員事業説明会を各 7 回開催し、63 名の就業希望会員を得ました。

実績としては、受託件数 327 件、就業実人員 36 名、就業延べ人員 259 名、契約金額 1,679 千円となりました。

第 7 表　家事援助・育児支援事業実績

項目	２８年度	２７年度	差　引	増減率
受注件数（件）	481	476	5	1.1%
登録会員数(人)	179	161	18	11.2%
就業実人員(人)	189	181	8	4.4%
就業延人員(人)	16,593	16,839	△246	△1.5%
契約金額(千円)	47,467	48,632	△1,165	△2.4%

※受注件数は、契約数(契約書)

(3) 自主事業運営分科会

会員が主体となって自主事業運営分科会を 5 回開催し、事業推進の検討を行い、学習教室、パソコン教室、手編み教室、書道教室、らくらくリフォームウェア工房、手づくりショップ・ふれあい、及び単発的な包丁研ぎの 7 事業を実施しました。

自主事業を地域に周知するため、有料・無料体験教室の実施、地域まつり等での展示販売など積極的にＰＲを行い、各教室の受講者及びセンター事業等の利用拡大、会員の増強に努めました。

パソコン教室、書道教室、らくらくリフォームウェア工房は実績減でしたが、その他 3 事業の実績は増になりました。なお、学習教室は 1 年を通じて生徒数がおらず、近年の事業実績を勘案した結果、平成 29 年 3 月末をもって閉講することにしました。（第 8 表のとおり）

また、2020 年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、平成 29 年度に英会話教室を開講するため準備委員会を立ち上げました。先進地区センターを視察し検討した結果、平成 29 年 6 月から初心者向けの英会話教室「ここ・から英会話」を開講する運びとなりました。

第 8 表　自主事業実績　　（単位　円）

項目	28 年度	27 年度	差　引	増減率
学習教室	0	80,000	△80,000	△100%
パソコン教室	1,665,500	1,746,500	△81,000	△4.6%
書道教室	1,304,000	1,488,000	△184,000	△12.4%
手編み教室	596,000	573,000	23,000	4.0%
らくらくリフォームウェア	4,314,296	4,561,005	△246,709	△5.4%
手作りショップふれあい	1,427,720	1,404,880	22,840	1.6%

包丁研ぎ	78,250	67,240	11,010	16.4%
実績合計	9,385,766	9,920,625	△534,859	△5.4%

５　就業に関する調査研究について（定款第４条第４号事業）

会員及び発注者の要望、意見等を把握し、事業運営に反映するため、第9表のとおり実施しました。

第9表　調査研究実施状況

事業実績の分析検討	毎月、理事会で就業実績の分析検討を実施
会員状況調査	8月　会員の現状を把握するため全会員を対象に実施（対象会員数1,700名、回答1,220名、回答率71.8%）
配分金単価調査	東京都最低賃金の改正に伴う他区センターへの配分金単価調査

６　就業相談について（定款第４条第１号及び第４号事業）

就業に関する各種資料を整備し、発注者の要望、会員の就業等について常時相談を行うとともに、毎月開催する新入会説明会にあわせて入会者の相談を実施するほか、区特別出張所の協力を得て出張就業相談会を第10表のとおり実施しました。

第10表　相談会実施状況

相　談　会　名	実施回数	参加者数
新入会員説明会	２１	２３０
一斉就業相談会	7	４２
出張相談会（10所）	５９	２８９

７　周知・ＰＲ等について（定款第４条第５号事業）

(1) 会員が主体となって広報委員会を8回開催し、第11表のとおり「区広報」「ポスター、チラシ」「ホームページ」等により周知・ＰＲを行うとともに新宿ここ・から広場前停留場に停車する都営バス車内放送広告を引き続き実施しました。

また、東京しごと財団による「地域高齢者活躍推進事業助成金」を活用し、センター名入りウエットティシュを作成するとともに、発注者である区民等に分かり易いＰＲ用チラシを作成し、会員一人ひとりが広報マンとなり、地域行事時及び就業先や自宅周辺への配布を行いました。

その他、センター事業を広く区民に周知するため、区内郵便局20局にセンター広告入りの現金納入袋及び切手・はがき保存袋を配置。また、センター新車両2台及び新宿区内を巡回する都営バス 2 台の車体にセンター広告をラッピングし動く広告塔として広くセンター周知・ＰＲに努めました。

第 11 表　普及啓発活動等実施状況

Ｐ　Ｒ　方　法	実　　施　　内　　容	実施回数
会報の発行	広報紙「まあるい」の発行・全会員等に配布	４回
機関紙の発行	「事務局だより」の発行・全会員配布	12 回
区広報の活用	「広報しんじゅく」に入会募集及び受講生募集等掲載	14 回
ホームページの活用	センター事業等の周知（更新 61 回）及び受注状況一覧	常時
ポスター掲示	ポスターを区施設・町会掲示板に掲示（1,604 枚）	５～６月
パンフレットの作成	シルバー事業全般に関する総合案内パンフレット及び単価表・困り事お手伝い事業チラシ・家事援助チラシを増刷	２回
リーフレット、パンフレット、ウエットティシュの配布	イベント会場等でセンターのＰＲ、受注案内、会員募集の資料配布　ウエットティシュ（7,000 部）	随時
チラシ配布	手づくりショップ・ふれあい、らくらくリフォームウェア、パソコン教室、家事援助・困り事お手伝い等チラシを配布	随時
就業開拓訪問活動	企業や町会等の地域関係者を訪問し、ＰＲ、受注案内を実施、またポスティングも実施　　17,655 部	367 事業所 203 町会等
ボランティアお便り	ボランティア事業（活動）の紹介　発行・全会員に配布	６回
都バス車内放送広告	新宿ここ・から広場前バス停案内時に実施（橋 63 路線）	４～３月
郵便局広告付き現金納入袋及び切手・はがき保存袋配置	センターの広告入り現金納入袋及び切手・はがき保存袋を区内郵便局（20 局）に配置、センター周知・ＰＲを実施	４～３月
郵便局ポスター・チラシ掲出	会員募集ポスター及びチラシを区内郵便局（3 局）へ掲出	３月
玄関前掲示板掲出	自主事業チラシ、作品掲出及びチラシ入れの活用	４～３月
センター車両ラッピング広告	動く広告塔としてセンター周知・ＰＲを実施	４～３月
都バスラッピング広告	動く広告塔としてセンター周知・ＰＲを実施	９～３月

（2）区主催の行事や各地域センターまつり等に参加し、センター自主事業の無料体験教室や展示・販売等を通して、センターのＰＲを行いました。第 12 表のとおり多くの地域行事に参加しました。

第 12 表　イベントへの参加状況

項　　目	参 加 年 月 日	参　加　場　所	参加者数
神楽坂青空フェスタ	5 月 15 日	神楽坂商店街	8
落二地域センター開館記念	6 月 18.19 日	落合第二地域センター	１８
西早稲田リサイクルまつり	6 月 12 日	西早稲田リサイクル活動センター	5
スポレク 2016	10 月 10 日	新宿区スポーツセンター	１９
新宿区ふれあいフェスタ	10 月 16 日	都立戸山公園	２６
榎町地域センターまつり	10 月 23 日	榎町地域センター	8
アトムフェスタ	11 月 6 日	新宿リサイクル活動センター	6
牛込箪笥地域センターまつり	平成 29 年 1 月 22 日	牛込箪笥地域センター	7
落合第一地域センターまつり	平成 29 年 3 月 11 日	落合第一地域センター	9
東京マラソン 2017	平成 29 年 2 月 26 日	江戸東京博物館	5

四谷ふれあい祭	平成 29 年 3 月 26 日	四谷地域センター	8

８　安全就業等について（定款第４条第５号事業）

(1) 会員が主体となって安全委員会を 11 回開催し、安全就業・健康増進のための検討を行うとともに、安全就業だよりを毎月定期的に発行、事故未然予防防止やシルバー保険等チラシを全会員に配布し、安全就業意識の共有化を図りました。7 月を「安全就業強化月間」と定め、安全大会を開催するとともに安全就業パトロールを実施し、傷害事故、損害賠償事故の防止、また安全就業や会員の健康に関する講習会を開催するなど、安全就業活動を第 13 表のとおり実施しました。

第 13 表　安全活動実施状況

項目・テーマ	実施月	講師等	実　施　場　所	参加者数
普通救命講習会（2 回）	平成 28.9 平成 29.3	東京防災救急協会指導員	シルバー人材センター	３９
ストレス予防講習会	平成 28.11	暮らしの保健室看護師	シルバー人材センター	２１
健康体操講習会 （シニアエアロビクス）	平成 28.7・10 平成 29.1	ダイヤビックひばり会	シルバー人材センター	１２５
自転車シミュレーター講習会	平成 28.8	新宿警察署員他	シルバー人材センター	２２
植木用機材の定期点検	毎月	はしご等の点検	シルバー人材センター	１２
職群班会議での安全呼びかけ	11 職群	事務局	シルバー人材センター	４７７
安全就業だより発行	毎月	事務局	全会員	
安全就業意識調査	平成 28.4	安全委員会	平成 28 年 3 月就業会員	対 象　1,057 回答　　703
平成 29 年度安全就業標語募集・選定	平成 28.12 募集	安全委員会	平成 29 年度安全標語「気持よく　働く職場に　事故はなし」	応募者 15 29 作品
安全大会の開催 （交通安全の講話）	平成 28.7	牛込警察署員	新宿文化センター	１２０

(2) 安全就業パトロールの実施

安全委員会委員による安全就業パトロールを、新規契約、パトロール未実施、及び都内シルバーで重篤事故が発生している植木現場を中心に第 14 表のとおり実施し、事故防止に努めました。

パトロールした 47 件で安全意識、服装・保護具、作業環境、作業用具等、共同作業、緊急時対応、健康管理の 7 項目の安全就業チェックを行った結果、「良い」の比率が 88.8%となりましたが、平成 27 年度と比べて約 9 ポイント悪化しました。

特に安全意識の項目で、会員証の不携帯、シルバーバッジの不活用が多く見受けられたことから、より一層、会員への安全意識啓発の必要性があります。

第 14 表　安全就業パトロール実施状況

パトロール先		件　　数
公　　共	学童擁護	2
公　　共	自転車整理指導	3
公　　共	公園・施設管理	3
公　　共	学校安全管理	2
民　　間	屋内外清掃・管理	１９
民　　間	植木の手入れ	１６
民　　間	その他	2
合　　計		４７

(3) 経営計画目標では、就業中の事故ゼロを目指すこととしましたが、この年度は傷害事故 14 件、損害賠償責任事故 1 件で傷害事故件数は前年度より 6 件の増、損害賠償責任事故件数は 3 件の減となりました。

なお、傷害事故 14 件中、就業中の事故が 9 件、就業途上の事故が 5 件で、事故の型で最も多いのが、本年も転倒事故（8 件）でした。

第 15 表　シルバー保険適用事故発生状況（件）　　（付属資料 57 頁参照）

項　　目		２８年度	２７年度	差　　引
傷害事故計		１４	8	6
	就業中	9	5	4
	就業途上	5	3	2
損害賠償責任事故		1	4	△３
合　　計		１５	１２	3

９　社会貢献活動について（定款第４条第３号事業）

(1) 会員が主体となって社会参画委員会を 7 回開催するほか、ボランティアの情報提供と参加促進を目的に「ボランティアお便り」を 6 回発行し、社会貢献活動等を総合的に計画しました。春・秋のごみゼロ運動、学校・公園周辺等の防犯パトロールボランティア、ここ・から広場前の道路清掃ボランティア、新宿シティハーフマラソン及び東京大マラソン大会ボランティア、使用済み切手収集ボランティア、新宿年末クリーン大作戦の参加等第 16 表のとおり活動を実施しました。また、会員相互の交流を図る場として、当施設 3 階会議室にて「交流のひろば」を毎月、月初めに 12 回開催し、957 名の方が利用されました。

この年度のボランティア活動参加延べ人数は、1,429 名で、全会員比 82.6%の参加率となりました。

なお、第 6 回ここ・からまつりの焼きそば、お汁粉、お茶処、喫茶コーナー及び苔玉盆栽の売上金 180,700 円は、新宿区社会福祉協議会に寄付致しました。

第 16 表　ボランティア活動実施

項　　目		実施回数	規模等	参加者数	備　　考
1	ごみゼロ運動	９回	７地区	９１	春２地区・秋７地区
2	お手玉作り	１２回	１２日	１２２	
3	防犯パトロール	１８回	２４日	１３４	小学校・公園周辺等
4	東京マラソン祭り 2017	１回	１日	２１	防衛省前沿道の観客誘導案内
5	新宿シティハーフマラソン	１回	１日	１７	沿道の案内及び･給水
6	ペットボトルキャップ収集ボランティア	随時	506,411 個	５７６	ポリオワクチン 468.9 人分相当
7	使用済み切手収集	随時	―	１１０	区社会福祉協議会へ寄付
8	ここ・から広場前の道路清掃	１０回	１２日	７５	ここ・から広場前の大久保通り歩道など
9	落合第二地区地域班による道路美化清掃	９回	９日	１１５	落合第二特別出張所周辺の道路清掃
10	四谷地区地域班による道路美化清掃	７回	１０日	５６	新宿通り沿い（四谷 1～２丁目）の道路清掃
11	戸塚地区地域班による道路美化清掃	６回	８日	２４	高田馬場駅前ロータリー周辺の道路清掃
12	ボランティア強化月間事業ここ・からまつり防犯パトロール	１回	１日	６	ここから広場周辺の防犯パトロール
13	ここ・からまつりお手玉遊びボランティア	１回	１日	１０	ここから広場多目的運動広場で実施
14	新宿年末クリーン大作戦	１回	１日	１８	新宿駅西口周辺の道路清掃
15	新宿打ち水大作戦	１回	１日	１６	高田馬場駅前ロータリー
16	放置自転車クリーンキャンペーン	１回	１日	１１	高田馬場駅前ロータリー
17	ポイ捨て防止・路上喫煙禁止キャンペーン	８回	８日	２４	高田馬場駅前ロータリー
18	囲碁を教えるボランティア	３回	３日	３人	交流のひろば開催時

(2) 会員のボランティアに対する意識・意向等について、事業計画に反映させる為、第 17 表のとおりアンケート調査を行いました。ボランティア活動に「参加できそう」と回答した人は 551 人（48.8%）、反対に「参加できそうにない」と回答した人は 576 人（51%）で、ボランティア活動に参加できる全会員での比率は、32.4.%と低くなっています。

第 17 表　ボランティア活動に関するアンケート

調査期間	８月１日～３１日
対象者	７月末現在会員（１，７００名）
回収結果	１，１２９名（回収率６６．４％）

(3) 広報委員会委員と社会参画委員会委員で構成した「まつり準備会」を立ち上げ、会議を５回開催するとともに出展者全体会を３回開催して、新宿ここ・から広場全体で

開催する「第６回ここ・からまつり」に参加しました。

3,400 名を超える来場者の中、センター活動内容の紹介をとおし、地域との交流、社会貢献事業のＰＲ等に努めました。

第 18 表　第６回ここ・からまつり実施状況

実 施 日 時	１１月１３日（日）　午前１０時～午後３時
実 施 場 所	新宿ここ・から広場しごと棟３・４階及び１階駐車場・運動広場
出展団体及び実施概要	4 委員会・5 自主事業・2 職群班・１地域班・親睦会など 14 グループによる展示、相談、体験コーナー、無料体験コーナー、輪投げと 2 模擬店・１お茶席出店。模擬店等売上金 180,700 円を新宿区社会福祉協議会へ寄付
参 加 者 数	来場者３，４４５名、出展者１７０名（会員・職員等）

（4）会員のシルバー事業への参加意識を高め、会員相互及び区民との交流を促進するため、地域交流会を第 19 表のとおり開催しました。

第 19 表　地域交流会の実施状況（※参加数は区民含む）

地　区	回　数	参加数	地　区	回　数	参加数
四　谷	１５	１３９	落合第一	１	９
箪笥町	２	１８	落合第二	１３	１８２
榎　町	３	７３	柏　木	５	４５
若松町	２	５０	角　筈	１	１９
大久保	１	１６	合　計	４３	５５１

１０　センターの運営等への会員参画について（定款第４条第５号事業）

センターの事業運営を効果的に推進するため、理事会のもとに 5 委員会（総務、事業、広報、社会参画、安全）の運営をとおし、会員参画により事業計画案の策定や理事会で決定された事項等の運営を第 20 表のとおり行いました。また、事務局だより等を通じて、理事会、委員会の活動を周知し、センター運営に対する会員の関心を高めました。

第 20 表　会員の参画状況

項　　目	構成員	項　　目	構成員
理事会（監事含む）	１４	各運営委員会	４７
顧問	１４	地域班長・組長	６７
総務委員会	７	就業適正委員会	５
事業委員会	９	理事及び監事推薦委員会	１２
広報委員会	１１	就業開拓専門員	３
社会参画委員会	１０	家事援助コーディネーター	５
安全委員会	１１	事業広報合同委員会	７
家事援助・育児支援事業開拓分科会	１２		
自主事業運営分科会	７	合　　計	２４１

１１　法令を遵守し、組織内の統制を強化する。（定款第４条第５号事業）

シルバー人材センターにおける適正就業の徹底を図るため、就業開拓専門員による仕事内容確認及び就業現場の巡回を行うとともに、発注者や会員のセンター事業に対する理解促進に努めました。また、公平な就業機会の提供のため、ローテーション就業やワークシェアリングを推進しました。また、センター事業の効果的推進を図るため、第 21 表のとおり活動を行ないました。

第 21 表　会議等開催状況

会　　議　　等	開催回数	参加者数
定時総会（平成 28 年 6 月 20 日）	１	１，０４５
理事会（定例理事会 12 回、臨時理事会 2 回）	１４	１９２
委員会：総務 4 回 28 名、事業 6 回 50 名、広報 8 回 64 名、事業広報合同 3 回 18 名、社会参画 7 回 60 名、安全 11 回 121 名	３９	３４１
分科会：家事援助・育児支援事業分科会(4 回・37 人) 自主事業運営分科会(5 回・29 人)	９	６６
世話役会議	１	６９
班長会議	１	１０
職群班会議	２７	４７７

各職群班会議の実績は、次のとおりです。

①　学校施設管理業務班（体育施設管理業務班含む）	２回	４１人
②　公園清掃班	１回	１６人
③　家事援助・育児支援事業班	２回	３２人
④　植木班	１回	１６人
⑤　自転車班	２回	６２人
⑥　学童擁護	６回	８２人
⑦　情報紙配布業務班	２回	３０人
⑧　除草班	１回	１１人
⑨　作業所班	１回	２３人
⑩　学校安全管理	６回	８８人
⑪　生活援助サービス事業班	３回	７６人

１２　経費の節減及び効率的な経営について（定款第４条第５号事業）

(1) 透明性を確保するためセンターのホームページを逐次更新するとともに、事務局だより等の活用によりセンター事業に関する情報提供に努めました。

(2) 職員の資質向上を図るため､職員研修及び能力開発等第 22 表のとおり行いました。

第 22 表　職員研修実施状況

区　　分	研修コース	実施回数	受講者数
東京しごと財団研修	総会運営について	1	1
	「ビジネスマナー」	1	3
	福祉・家事援助サービス事業 生活支援サービス国保連請求事務研修	1	2
	「人権･非行防止･個人情報保護」	1	3
	「適正な会計処理のポイント」	1	1
	決算事務	1	1
第３ブロック合同研修	職員研修	1	5
	経理研修	1	1
	清掃研修	1	3
	植木研修	1	1
	家事援助生活支援サービス研修	1	3

事業報告の附属明細書

平成２８年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第３４条第３項」及び「定款第４０条第１項第２号」に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

公益社団法人新宿区シルバー人材センター　会長　森　岡　泰　弘

【参考】

公益社団法人新宿区シルバー人材センター定款（抜粋）

（目的）

第３条　センターは、社会参加の意欲ある健康な高齢者に対し、地域社会と連携を保ちながら、その希望、知識及び経験に応じた就業並びに社会貢献等の活動機会を確保し、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。

（事業）

第４条　センターは、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

（１）臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のための就業の機会確保及び提供

（２）高齢者に対し、就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習の実施

（３）社会貢献活動等を通じて、高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために必要な事業

（４）前条の目的を達成するための調査研究、相談及び事業の企画運営

（５）その他センターの目的を達成するために必要な事業

２　前項の事業は、東京都において行うものとする。